第6回高安自然再生協議会記録

テーマ: 高安地域自然再生活動と防災について

目時:2015年12月17日(水)PM5:30~7:00

場所:大阪経済法科大学八尾キャンパス 506 号教室

参加者: 齋藤、太田、加納_{義彦}、加納_{英治}、平尾、松本、(安全課)、藤木、宮崎、當内、宮嶋、新福、大橋、鶴田、島崎、小林、福田、小幡、福田_{人美子}、水谷、坂上、東郷、橋本、小西、尹、山野

アドヴァイザー:加納龍三、西辻豊、近田直人、河村功一

1) 高安の自然再生と防災について 高安地域の森林整備と大雨時に生じる可能性がある土石流の関係について議論する。

2) 大阪府森林税について 大阪府が28年度から府民から森林税を徴収し、森林整備による防災活動を実施する。

3) ニッポンバラタナゴの保護

神宮寺のニッポンバラタナゴ

八尾市南高安神宮寺池の底樋が崩壊しニッポンバラタナゴの一時避難を実施した。今 後の対策について話し合った。

久宝寺緑地のニッポンバラタナゴ

ニッポンバラタナゴの増殖には成功したがドブガイの繁殖は見られなかった。また、 タイリクバラタナゴの放流されていることが明らかになり、今後の対策について話し 合った。

高安のニッポンバラタナゴ

4) 高安地域のまちづくりについて

ニッポンバラタナゴの保護するために高安地域の自然再生活動を実施し、地域の人と 共にため池などを保全するためには地場産業を促進し、地域つくりが重要であること を議論した。

5) 地場産業の活性化について

高安の地場産業である花卉栽培と造園業および養魚業を促進することで、ニッポンバラタナゴを保護しているため池などの管理を地域住民とともに実施することを提案する。

6)環境教育について

地元の小中学校においてニッポンバラタナゴの保全活動をテーマとして持続可能な環境教育の事例を紹介した。